

■第2回陸奥の国のまちづくりワークショップ 意見のまとめ 黄グループ

	現況の問題点	将来のイメージ	整備・保全・改善の考え方
住宅地		<ul style="list-style-type: none"> 区画整理による安全安心な住宅地（防災） 住宅地をあまり広げない 統一性ある区画整理による住宅地の整備 	
公共交通		<ul style="list-style-type: none"> JR 大湊線の強風時の運休問題の解消 下北郡のバス交通網とターミナルの再考 高齢者にとって買い物、病院への交通手段が整備されている街 バス交通が充実したまち（路線、本数） 	<ul style="list-style-type: none"> バス本数を増やす バスの定時性（時刻表どおりの運行）を確保する 市内循環バスの整備（低額で）
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> 郊外のショッピングセンターなどの大型店が規制されていない 	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少は止められないので、コンパクトな街を目指す 商業地域をあまり広げない 	<ul style="list-style-type: none"> 用途地域内での区画整理事業を進める 用途地域の白地地域の規制を強化する
中心市街地	<ul style="list-style-type: none"> 商店街が弱体化すれば祭りやイベントができなくなり、伝統文化がなくなる 先進地の視察の結果、むつ市に戦略性がない 	<ul style="list-style-type: none"> 田名部本町は昔から下北の中心商店街であり、顔である 田名部地区を中心市街地にすべきである（本町、駅前、小川町、新町地区） 昔からの中心市街地を活かしたまち 	
生活施設		<ul style="list-style-type: none"> 市民のためを重視した道の駅を設ける 大畑線がなくなったかわりに都市計画道路を整備する むつ市営住宅の充実（広いスペース） 中心市街地に公共施設をたてる 	
その他 (産業等の次回テーマを含む)	<ul style="list-style-type: none"> 下北半島全体の産業経済の大きな変化を認識する必要がある。ヒバ⇒練場⇒イカ釣 労働力の減少、誘致企業の撤退、漁業も農業もやる人がいなくなっている 	<ul style="list-style-type: none"> 学生に県外見聞をさせ、大志を抱かせる 人前でどんどんものを言える環境と習慣を奨励する 地域性を活かした雇用・産業 	<ul style="list-style-type: none"> 地元企業を育成すべき、地元資源を生かした労働者、雇用を増やさないと人口減少 計画策定の過程をオープンに